

留学報告書 II (2020 年度留学生)

塾内在籍校・学年(派遣時)	中等部 2 年
留学先校名	Fay school
留学期間	2020 年 9 月から 2021 年 6 月まで

留学前

派遣留学先には、どのようなことを期待していましたか？

世界各国からの生徒が集まるということだったので、多種多様な文化や言語を持つ友達同士で、お互いに自国の文化をシェアし合い視野を広げたいと思っていました。そして初めての寮生活や、その中で沢山の時間を友達と過ごし、大切な友人関係を築き、たくさんの大切な思い出を作りたいと思っていました。また、Fay school はアメリカで一番古い Junior Boarding School ということで歴史あふれる Fay school ならではの Speech Contest、Color competition、Taste of Nations といった行事や伝統、日本とは全く違う授業スタイル、アメリカならではのライフスタイルをいっぱい経験できたらなと期待していました。

留学に向けて、事前にどのような目標を立てましたか？

細かいことは気にし過ぎず、常にポジティブにとにかく充実した楽しい留学生活をすることを第一に、様々なことに挑戦して、Fay school でしかできない経験を沢山したいと思いました。初めての寮生活がとにかく楽しみで、たくさんの思い出を作ることと、授業、友達、日常生活からいろんな学びや発見をしようということを決めていました。

留学を振り返って

この一年間の留学生活はコロナの影響もあり、沢山の予期していなかった出来事が多く、いろんな面で制限の多い生活ではありましたが、それ以上に日本とは違う授業形式でのあらゆる新しい学びや、いろんな国の異なる文化、そしてたくさんの大切な友達との関係を通して、様々な学びや発見の多い、とても充実して楽しい、宝物の日々を過ごすことができました。

この1年間で自分自身の可能性、モットー、長所、そして短所を再度見つめ直すことができ、新たな学びとたくさんの思い出と共に、視野が広がり、物事の見方、捉え方も変わり、ひとまわり、ふたまわりと成長することができました。

クラブ活動や課外活動など、学業以外の活動について教えてください。

スポーツ:

<Fall-Volleyball>

毎日授業の後にスポーツが一時間半ほどあり、タームごとに一つずつスポーツを選択しました。私は Fall term にバレーボールを選択しました。バレーボールは私の好きなスポーツの一つで、明るい友達と一緒に楽しくプレイしました。Fall term 以降も自由時間によくバレーボールをしていたので上達しました。

<Winter-Outdoor Adventure>

Winter term では Outdoor Adventure を選択しました。みんなで丘の上からソリで降りたり、snow shoe という雪靴を履いて雪の中を歩いたり、Reinke という屋内サッカーフィールドみたいなところでドッジボール、ハンドボール、サッカー、伝統的な室内ゲームなどをして過ごしました。

<Spring-Softball>

Spring term ではソフトボールを選択しました。ソフトボールは私の大好きなスポーツで、みんなで一緒にソフトボールをプレイしているうちに、友達との信頼関係もより深まり、お互いにアドバイスあったり、チームメイト同士がお互いを鼓舞し合いながら、とてもいい時間を過ごしました。

Drama(Spring):

Springにはスポーツに加え、週に一回（私の場合、毎週水曜日）ドラマに参加することも選べたので、ドラマにも参加しました。まずはいろいろなシーンを演じてオーディションで役が決まると、シェイクスピアの劇のコメディ版、”How to Survive Being in a Shakespeare Play?”をシーン別にみんなで演じました。演劇をするのは初めてだったのですが、なかには学校外で舞台を習っている子もいて、とてもレベルの高いので刺激的で楽しい活動となりました。先生も友達も明るい子ばかりで楽しく過ごすことができました。

8th Grade Service Project:

例年は **Service project/learning** で New York に行ったり、キャンパス外での活動があるのですが、今年はコロナの影響があり例年通りの **Service Project** とは違いました。各学年 1 回ずつ **Service Project** があり、私たち 8 年生は 4 つの **Social Justice Standards** に沿った子供の絵本をグループで一冊ずつ作り、**Head Start** という団体に寄付しました。グループのメンバーでフォーカスするトピックを考え、ストーリーのアイデアを出し合い作成していくのですが、イラストを描くのがとくに大変で、最後の最後までなかなか終わらず、夜遅くまで作業をしなければならないほどでしたが、無事に絵本が完成したときは達成感があり、とても満足のいくものが出来上がりました。

Fay Helper:

Fall term にプライマリースクールのお手伝いで、絵本の読み聞かせのかわりに、絵本の朗読を録音してサブミットするというボランティアに参加しました。私は浦島太郎の英語版を読みました。表現の違いや、オリジナルのストーリーから少し変わっていた部分もあり、私も読んでいてとても面白かったです。

Volunteer:

Spring break に学校に残った生徒の中から **Spring term** での授業に向けて、机位置のテープを各教室に貼るなどの教室の準備を手伝うボランティアを募集していたので参加しました。

週末のアクティビティ:

週末はキャンパスの周りや川沿いなどを自転車で走る **bike riding** や、**sushi making**、**frisbee golf**、**sledding**、**ice skating**、**rock wall climbing**、**corn hall making/painting** をはじめとした様々な週末アクティビティがあり、アクティビティに参加する他にも友達と **gym** に行ったり、**quad** という広場でのんびり過ごしたりと、毎週末とても楽しく過ごすことができました。

学業について

8 年生は語学を除いた全ての授業が既に決められていました。私の場合は **ELP(English Language Program)** というプログラムの生徒でもあったので、第二外国語も英語となっていました。授業はディスカッション形式が多く、どの科目でも質問に対しては、なぜそう思ったかという自分の意見を言うことが多かったです。日本での授業のように、先生が黒板に書いたことを生徒が板書するという授業はほとんどなかったのが印象的です。全ての授業でまず自分でよく考えるということが中心になるので、自然とトピックへの関心・意欲が湧いてくるので授業も楽しかったです。毎日の課題の量はとても多く、自分で時間をマネージメントしながら優先順位をつけて、日中やディナー後のスタディホールの時間など空き時間を上手に使わないと終わらないくらいでした。しかし、課題はそのトピックや授業内容への理解を深めるものだけでなく、自分の曲を作ったり、動画を作ったりなど楽しいプロジェクトもたくさん出してくださるので課題は大変なだけではなく、とても楽しかったです。日本のような中間、期末というような試験期間は今年は設定されていなく、**mid-term** 前や **end of term** に各教科バラバラの日程で試験がありました。試験自体は日本よりも問題数は少なく、内容も日本の試験よりは少し簡単なように感じました。また 2 週間ごとに日頃の様子の評価である **Effort grade** が 1-5 の数字で評価されます。このグレードは **Color team competition** や **Mid-term/End of term grade** にも強く影響するので試験以外の様子もとても大事でした。

今後の派遣留学生へのアドバイス

自分の趣味や好きなことを英語で説明できるようになっておく友達に話すときにとっても役立つと思います

す。私はもともとすごくアニメが好きで、Fay でできた友達の中にはアニメが好きな子がとてもたくさんいたので、よくアニメの話で盛り上がり、より仲良くなれた気がします。おすすめのアニメなどを教えてあげようと思っていたのですが、私より全然たくさん隠れた名作のアニメを知っている人が多く、逆に私が色々教えてもらっていました。

また、日本の文化(日常的なもの)も説明できるように確認しておくのもいいと思います。いろんな国からきた文化の違う人がたくさんいるので、私はよく日本ではこういうときこういうことをするんだよ～と言い、友達も友達の文化を私にシェアしてくれていました。先生にも日本文化が好きな先生がいて、授業の余談で日本の文化について話すこともよくありました。

もともと練習していて、とても留学生活で役に立ったのはタイピングです。課題はほとんど全てパソコン上で行うためタイピングは必須になり、課題の量も多く授業内に終わらせなければいけない時などは、タイピングが早いと早く課題を終わらせることができとても便利です。趣味程度に練習しておくと思えばいいかなと思います。

そして少し自分にとってチャレンジなことでもどんどんと挑戦していくことがとても大事だと思います。できるだけ色々なことに参加したり、挑戦したりすると思います。アクティビティにはなるべく多く参加し、いろんな人に話しかけて、話すときの言葉が確実にわからなくても自分の言いたいことを言う言葉で伝え、苦手なことなんでもいいからとにかく挑戦してみる、ということをしていけば自然と友達はたくさんできていて、気づかないうちにいろんな人とも仲良くなれるので細かいことは考えすぎなくて大丈夫だと思います。英語力の向上も授業(グレード)も留学生活の中で挑戦していれば、いつの間にかすごくよくなっているので特に気にしすぎないで、とにかく目の前のことにできるだけ挑戦していけば大丈夫だと思います。

また、どうにかなる！という精神でいることも大事だと思います。一度に大量に課題がいろんな教科から出されたり(End of term の Final project が各教科重なりがちです)、授業内容がよくわからない時や、なかなか自分では納得のいかないことも勿論ありましたが、常に大丈夫、どうにかなる！と言ってコツコツと進めていました。必ずちゃんとどうにかなるのでポジティブに、時には気楽にいることも大事なことだと思います。

“You Can If You Will” です！

友達と一緒にたくさん笑い合った時間、みんなでたくさん話し込んだ時間、一緒に大声で歌った時間、課題に追われた時間、週末のアクティビティ、それぞれ一つ一つの授業、全ての Fay で過ごした時間はとても大切な一生物の思い出で、1年間本当にあっという間に過ぎてしまいました。

たくさんの方に挑戦して、充実したかけがえのない大切な思い出、時間を過ごしてください。

以上

